



初詣のご案内

当社では例年通り御本社、御旅社ともに
一月一日 午前0時〜午後五時頃まで開門
いたします。また、新年のお守り、御神札など
の授与も午前0時から開始致します。

今年一年間のご奉告と、新年の無病息災、開
運招福を祈念して初詣にどうぞお参り下さい。

新年祈禱について

新年のご祈禱につきましては必ず年内にお
電話等でご予約下さい。飛び入りではお断り
致しております。なお、団体での新年祈禱に関
しては全て御本社で執り行っております。

また一月四日から十五日にかけては、茶屋
町の御旅社ではご祈禱はお受け付け出来ませ
るのでご注意下さい。

御本社(神山町) 〇六―六三六一―二八八七
御旅社(茶屋町) 〇六―六三七一―一五八六

御神札の祀り方

基本的には、お受けになられる方が一番大
事にしたい神さまの御神札をお祀りになられ
れば結構ですが、本義に基づいてお祀りされ
るのであれば、

- ① 伊勢の神宮の御神札(神宮大麻)
- ② 氏神さまの御神札(梅田の場合は当宮)
- ③ 個人的に崇敬されているお宮の御神札

(商売繁盛であればお稲荷さんなど)
の順番でお祀りされると良いでしょう。



三社造りの神棚の場合



一社造りの神棚の場合
(神宮大麻を先頭に、
重ねてお祀りします)

御神札と御守について

新年には新しい御神札と御守を神社で受け
ますが、どちらが良いのかといったお問い合
わせを近頃よく頂きます。 答えから申し上げ
ますと、どちらでも結構ですが、御神札はご
家族や団体向け、御守は個人向けと捉えて頂
いても良いかと思えます。御神札は神棚を据
えて、そこにお祀りしますので、ご家族全体を
神さまがお見守りになられるという形になり、
御守はそれぞれの身の回りのものに付ける場
合が多く、身近で神さまに見守って頂くとい
ったものとなります。

御神札、御守ともに一年間お護り頂いた後
は神社の古札納め箱などにお返ししましょう。
そして初詣の際などに新しい御神札、御守を
お受けして良い新年を迎えましょう。

年末年始の御朱印休止

当宮では土日の午後、茶屋町の御旅社で一
括して御朱印をお受付しておりますが、年末
年始は社務多忙の為、十二月十三日から一月
二十五日まで御朱印の受付を休止します。

一月二十六日以降受付再開の予定ですが、
社務の状況によっては変更する場合もござい
ます。再開状況はツイッターでご案内してお
りますので事前にこちらもご確認ください。

今月の暦

- 【祭礼】 年越大祓(廿一日)：半年間の罪穢れを祓う
除夜祭(廿一日)：新年も引き続きのご加護を祈
念し、初日の出が昇るまで
灯し続ける火(霊)を熾す神事
大雪(七日)：寒冷地では雪が激しく降る頃
冬至(廿二日)：日中の時間が最も短い頃
- 【節気】 針供養(八日)：日頃使う針に感謝。裁縫上達
事始め(十三日)：お正月の準備を始める日
終い天神(廿五日)：今年最後の天神様の縁日
- 【大安】 十二月三日、九日、十五日、廿一日、廿一日



網敷天神社 SNS、地図サイト

編著 網敷天神社 禰宜(御旅社 神主)
白江 秀 知

白江 秀 知

